

＜事務事業評価表＞

平成26年度

林業振興育成事業

評価表

No. 21

〔単位：千円、人〕

1 事務事業の位置付け (Plan)						
所管部課名	農林水産部 林務水産課		担当者	大田 亮		
根拠法令等	薩摩川内市農林水産部関係補助金交付要綱等		マニフェスト関連	□		
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 特定事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 裁量事業					
政策	地域力を発揮し産業活力を創出するまちづくり		施策	林業の振興		
			小施策	林業経営の高度化		
予算科目等	会計	一般会計				
	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費	
	事項	林業振興育成費		細事項	林業振興育成費	
2 事務事業の実施 (Do)						
事業の内容	概要	<p>林業労働力が減少し高齢化が進む中で、担い手確保の対策として、林業事業体作業班員の確保及び計画的な間伐の推進を目的とした補助金を交付する。</p> <p>また、森林の持つ多面的機能を発揮するためのみどり豊かな森づくり、及び地域の緑化を目的とした補助金を交付する。</p>				
	対象（誰を、何を対象とする事業か）	市内の認定林業事業体、薩摩川内市みどり推進協議会				
	意図（どのような状態にしたいのか）	地域林業の振興、地域緑化の推進及び豊かな森林の整備				
	手段（市がどのような活動をするか）	補助金の交付				
	事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（⇒ 年度～ 年度）				
	活動指標	指標名		目標値	目標年度	
	成果指標	補助金交付件数		10件	平成31年度	
	民有林の間伐実施面積		674ha	平成31年度		
経費及び指標の推移	項目	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額	平成27年度 見込額	平成28年度 見込額
	事業費	10,341	8,530	9,985	9,985	9,985
	補助金	10,341	8,530	9,985	9,985	9,985
	みどり豊かな森づくり事業	1,700	0	1,300	1,300	1,300
	林業就労改善推進事業	8,641	8,530	8,685	8,685	8,685
	財源内訳					
	国・県支出金					
	その他					
	一般財源	10,341	8,530	9,985	9,985	9,985
	要員配置状況	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02
	職員	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
	嘱託員					
	臨時職員等	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
活動指標の推移	2件	1件	10件	10件	10件	
成果指標の推移	558ha	486.49ha	674ha	674ha	674ha	
特筆すべき事項等	<p>【認定林業事業体】</p> <p>林業労働力の確保に関する法律第5条に基づき、林業労働力を確保するため、意欲をもって「雇用管理の改善」と「事業の合理化」に一体的に取り組む内容の改善計画を申請し、県の認定を受けた事業主をいう。</p> <p>薩摩川内市内の認定林業事業体は、現在11社。</p>					

＜事務事業評価表＞

3 事務事業の視点別評価 (Check)					
妥当性	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black;">対象・手段の妥当性</td> <td style="border: 1px solid black;"><input checked="" type="checkbox"/> 妥当である</td> <td style="border: 1px solid black;"><input type="checkbox"/> 改善の余地はある</td> <td style="border: 1px solid black;"><input type="checkbox"/> 妥当ではない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 森林整備を図る為には林業労働力の確保が必要であり、民有林の間伐を推進していく上では行政の支援が必要である。また、みどり豊かな森づくりを推進するみどり推進協議会の活動を支援するため、補助金の交付は妥当と考える。</p>	対象・手段の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 改善の余地はある	<input type="checkbox"/> 妥当ではない
	対象・手段の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<input type="checkbox"/> 改善の余地はある	<input type="checkbox"/> 妥当ではない	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black;">市が関与すべき妥当性</td> <td style="border: 1px solid black;"><input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき</td> <td style="border: 1px solid black;"><input type="checkbox"/> 民間でも可能</td> <td style="border: 1px solid black;"><input type="checkbox"/> 民間で実施すべき</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 森林環境の保全を図る上で、市が関与すべきである。</p>	市が関与すべき妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき	<input type="checkbox"/> 民間でも可能	<input type="checkbox"/> 民間で実施すべき	
市が関与すべき妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が関与すべき	<input type="checkbox"/> 民間でも可能	<input type="checkbox"/> 民間で実施すべき		
効率性	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black;">事業費の削減余地</td> <td style="border: 1px solid black;"><input type="checkbox"/> 削減の余地がある</td> <td style="border: 1px solid black;"><input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 他市町も実施しているが、本市の森林面積、人口規模からすれば妥当な事業費である。</p>	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない	
	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black;">要員配置の削減余地</td> <td style="border: 1px solid black;"><input type="checkbox"/> 削減の余地がある</td> <td style="border: 1px solid black;"><input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 補助金交付事務、認定林業事業体との調整、みどり推進協議会の事務局（事務局は市に置かれている）にあたる人員であり、削減の余地はない。</p>	要員配置の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない		
要員配置の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減の余地はない			
有効性	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black;">成果の達成度</td> <td style="border: 1px solid black;"><input type="checkbox"/> 達成度はかなり高い</td> <td style="border: 1px solid black;"><input checked="" type="checkbox"/> 達成度はやや高い</td> <td style="border: 1px solid black;"><input type="checkbox"/> 達成度は低い</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由 ※成果指標の過去の動向把握(5段階)結果を含めて選択理由を記入) ●過去の動向把握…<input type="checkbox"/>大きく改善、<input type="checkbox"/>改善、<input checked="" type="checkbox"/>ほぼ横ばい、<input type="checkbox"/>減少、<input type="checkbox"/>大きく減少 森林整備を推進していくには行政だけでは限られており、民間団体(林業事業体)、市民(森林所有者)と一体となった施策が必要であり、補助金を交付することで森林整備等の推進が図られる。</p>	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度はかなり高い	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度はやや高い	<input type="checkbox"/> 達成度は低い
	成果の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度はかなり高い	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度はやや高い	<input type="checkbox"/> 達成度は低い	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black;">成果の向上余地</td> <td style="border: 1px solid black;"><input type="checkbox"/> 余地がかなりある</td> <td style="border: 1px solid black;"><input checked="" type="checkbox"/> 余地がある程度ある</td> <td style="border: 1px solid black;"><input type="checkbox"/> 余地はほとんどない</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">(上記選択の理由) 今後木質バイオマス発電事業に伴い、森林所有者の森林に対する関心が図られることから、民有林整備に対する関心が期待される。</p>	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がかなりある	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 余地はほとんどない	
成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 余地がかなりある	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 余地はほとんどない		
4 事務事業の改革・改善の方向性 (Action)					
内部評価結果	<p>今後の改革の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性：<input type="checkbox"/>拡大 <input type="checkbox"/>他の事業と統合 <input type="checkbox"/>手段の改善 <input type="checkbox"/>移管 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p>				
	<p>上記方向付けの理由</p> <p>民有林の整備に関しては木材価格が低迷している中ではあるが、戦後植栽した人工林が伐採期を迎えることから、今後森林所有者に収益が見込まれ、森林整備が進むことが期待されるため、当分の間市場等の状況を見守りたい。</p> <p>また、緑化推進事業については、潤いのある生活環境をもたらしてくれることから市民のニーズも高まってきており、継続して事業展開を図りたい。</p>				
	<p>改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画</p>				

外部評価結果	<p>事務事業の視点別評価</p> <p>妥当性 ⇒ <input type="checkbox"/>高い <input type="checkbox"/>低い</p> <p>効率性 ⇒ <input type="checkbox"/>高い <input type="checkbox"/>低い</p> <p>有効性 ⇒ <input type="checkbox"/>高い <input type="checkbox"/>低い</p>
	<p>今後の改革の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 現状のまま継続</p> <p><input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性：<input type="checkbox"/>拡大 <input type="checkbox"/>他の事業と統合 <input type="checkbox"/>手段の改善 <input type="checkbox"/>移管 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p>
	<p>まとめ（補助金等評価を含む。）</p>

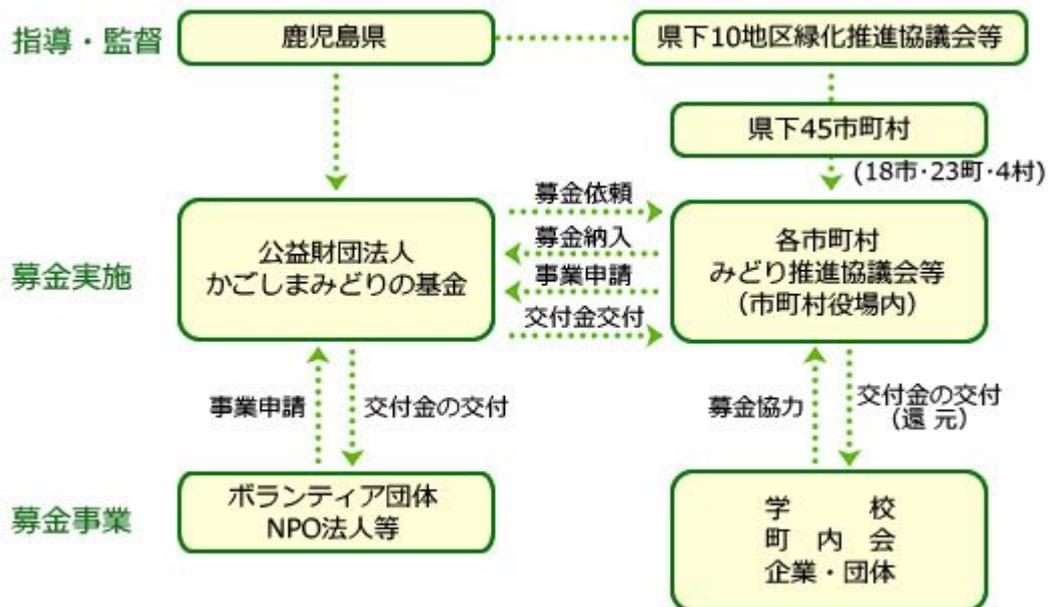
所管部課名	農林水産部 林務水産課		担当者	大田 亮				
事務事業名	林業振興育成事業							
根拠法令	薩摩川内市農林水産部関係補助金交付要綱							
補助経過年数	6年以上10年以下							
平成26年度 予算額	1,300千円	国県支出金	その他	一般財源	その他の内容			
		千円	千円	1,300千円				
	指標名		目標値		目標年度			
成果指標①	募金額		3,110千円		平成31年度			
成果指標②								
補助対象者	薩摩川内市みどり推進協議会							
補助対象経費	緑の募金法に基づく緑化の推進及び森林の整備							
補助対象事 業・活動の内 容	① 広報活動事業 … 「みどりの募金だより」の作成 ② 森林整備事業 … 各種の森づくりの整備 ③ 緑化推進事業 … 花苗等の配布や緑の少年団の活動助成 ④ 前に掲げるもののほか、特に必要であると認められるもの							
	分類	<input type="checkbox"/> 運営補助のみ <input type="checkbox"/> 事業補助のみ <input checked="" type="checkbox"/> 運営補助と事業補助の両方 <input type="checkbox"/> その他						
補助金額又は 補助率	予算で定める額以内							
上記項目の 積算方法	予算で定める額以内							
補助を 受ける 事業 (団体) 等の 決算 状況 等	項目		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			金額(円)	割合(%)	金額(円)	割合(%)	金額(円)	割合(%)
	収入	自己資金	4,588,963	54.0%	4,664,958	54.8%	4,402,927	65.4%
		会費収入		0.0%		0.0%		0.0%
		交付金	1,761,000	20.7%	1,743,000	20.5%	1,731,000	25.7%
		募金	2,827,963	33.3%	2,921,958	34.3%	2,671,927	39.7%
		市補助金	1,800,000	21.2%	1,700,000	20.0%	0	0.0%
		販売金・雑収入	264,354	3.1%	278,884	3.3%	270,486	4.0%
		(前年度繰越金)	1,849,920	21.8%	1,876,389	22.0%	2,063,140	30.6%
	計	8,503,237	100.0%	8,520,231	100.0%	6,736,553	100.0%	
	支出	事業費	3,314,242	39.0%	3,020,889	35.5%	3,205,852	47.6%
		人件費	225,000	2.6%	300,000	3.5%	300,000	4.5%
		その他事務費	151,512	1.8%	231,115	2.7%	103,901	1.5%
		拠出金	2,936,094	34.5%	2,905,087	34.1%	2,868,474	42.6%
				0.0%		0.0%		0.0%
				0.0%		0.0%		0.0%
		(翌年度繰越金)	1,876,389	22.1%	2,063,140	24.2%	258,326	3.8%
計	8,503,237	100.0%	8,520,231	100.0%	6,736,553	100.0%		
支出計/前年度支出計				100.2%		79.1%		
自己資金/前年度自己資金				101.7%		94.4%		
翌年度繰越金/市補助金		104.2%		121.4%				
交付件数		1件		1件		0件		
成果指標の推移①		2,827千円		2,921千円		2,671千円		
成果指標の推移②								
特記すべき事項等	<p>【今年度改善点】 補助金額の見直しを行った。</p> <p>【前回評価への回答】 繰越金が多額との指摘により、H25補助金なし、H26はH24より40万減額。</p> <p>【事業のPR方法】 各戸にチラシ配布(別紙)。</p> <p>【費用対効果】 継続することで市内の緑化推進が図られる。</p> <p>【補助事業以外の事業】 緑の募金活動事業。</p> <p>【その他】 H25は補助金なしとなったが、指摘のあった繰越額が改善されたこと、及び今後の事業維持に必要であることから、H26は再度補助金がつくこととなった。</p>							

要件	項目	評価	評価した内容についての説明
公益性	補助の対象となる事業又は補助を受ける団体等の活動が、直接又は間接に、不特定多数の市民の福祉の向上及び利益の増進に寄与している。	A	本市では森林整備や緑化に対する地域緑化を推進しており、地区コミ、自治会、学校等からの要望を踏まえ苗木等の配布を実施し公益上の増進に繋がっていると認識している。
必要性	次のいずれかに該当するものである。	A	①に該当する。 市内の緑化推進を図るため、市民に対する理解を深めるうえでは継続して行うことが重要であり、「みどり推進協議会」へ補助することで継続的な事業が図られる。
	① 特定の目標・成果の達成に向けて、一定の団体等に一定の補助を行うことが直ちに必要であると認められる。 ② 社会的弱者の救済、地域的ハンディの克服等の観点から、当面、補助を通じた行政の支援が必要であると認められる。		
有効性	達成しようとする目標・成果が市民ニーズに合致しており、かつ、その目標・成果の達成に向けて、適切な効果を生じている。(その目標・成果を測るための適当な効果指標の設定がなされている。)	A	近年の異常気象や自然災害など地球環境問題が、国民の大きな関心を呼んでいる中、きれいな空気や水を育む森林や緑の大切さが認識され、森林の整備や緑化の推進が強く求められており、みどり豊かな森づくり事業は市民のニーズに答えている。
適格性及び妥当性	① 補助の対象となる事業について、行政が直接実施するよりも、行政以外の者が行う方が適当であると明確に認められる。	B	みどり推進協議会は、緑の募金の交付先として県下全市町村に設置されており、緑の募金活動収益金と併せて事業を実施する団体のため、市ではその事業を支援することが適当である。
	② 補助率又は補助額が、明確な根拠によって積算されたものであり、かつ、社会経済情勢に照らし、著しく妥当性を欠く水準とはなっていない。(交付要綱の補助基準)	B	明確な根拠はないが、総会で審議されており妥当性を欠くものではない。
	③ 補助を受ける団体等の活動状況等に照らし合わせて、自助努力がみられるなど、明らかに半永続的・固定的な補助にはならないと見込まれる。	A	緑の募金活動の収益金が主な財源になっており、収益金の増加により、半永続的・固定的な補助にはならないと見込まれる。
	④ 当該補助事業以外にその団体が行う活動の状況においても一定の公益性が認められる。	A	各自治会、地区コミ等花の苗木等の要望が多数あり、市内の緑化に向け市民が一体となった取り組みとなっている。
	⑤ 特定の目標・成果の達成に向けて、当該補助金等の交付以外に適当な政策手段がないか、又は当該補助金等の交付が最も適当な政策手段であると明確に認められる。	A	市内全域に事業展開を図るうえでは、現在募金活動の収益金だけでは困難であるため、補助金の交付により事業展開を支援することが妥当である。
	⑥ 補助の対象となる経費が、明確に規定され、その内容は補助目的に照らし、公費を充てるものとして、著しく妥当性を欠くものとはなっていない。	B	対象経費は補助金交付要領により規定され、公費を充てるものとして妥当性を欠くものとはなっていない。

〈補助金の見直し結果〉

内部評価 (一次) 結果	≪今後の改革の方向性≫ <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の補助金と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 補助内容の改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	≪上記方向の理由≫ 例年、事業の取り組み内容が恒久化しているように思われる。新たな取り組みなど検討する必要がある。
	≪改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画≫ 協議会の委員及び事業関係者などからの意見聴取や、他自治体の取り組み状況の把握に努める。

緑の募金の仕組み



平成25年度 みどりの募金だより

<はじめに>

「薩摩川内市みどり推進協議会」は、緑豊かな森林づくり、緑と花に満ちた潤いのある街づくりを進めるため、毎年、みどりの募金活動をはじめ、市花であるカノコユリを本土地域の地区コミュニティ協議会へ配付する事業等を行い、その益金により公益性の高い森林整備や地域の環境緑化に努めています。

本協議会の平成24年度の事業実績と平成25年度の事業実績及び計画をお知らせします。



<事業のあらまし>

●平成24年度実績(H24. 4~H25. 3)

○募金活動等

みどりの募金・イベント募金等の実施

募金実績額 2,906,587円

門松カードの幹旋

幹旋組数 13,310組

自治会並びに、市民の皆様のご協力により、たくさんの募金が集まりました。厚くお礼申し上げます。

○森林の整備

唐浜白砂青松の森づくり

3月2日に港町唐浜地区で、約300名のボランティア参加者と松くい虫被害に強い抵抗性松の苗木1,410本(九州電力株式会社及び北薩地域森林・林業振興協議会の寄贈)の植樹を行いました。

鹿倉市民の森林の整備

城上町にある「鹿倉市民の森」において、記念樹の保育・育成のために下刈り作業を行いました。



(白砂青松の森づくり植樹風景)

○緑化の推進

カノコユリの球根等の配付

市花であるカノコユリの球根を本土地域の23地区コミュニティ協議会に配付したほか、緑化推進活動として、自治会や学校、幼稚園等へサクラやクロマツの苗木、各種の花等を配付しました。また自治会へ花の種を配付して、公共施設等の「花いっぱい活動」を推進しました。

緑の少年団活動助成

緑とのふれあいを通して、緑を愛し守り育てる心を養うための緑の少年団活動に対し助成を行ったほか、緑の少年団交流事業等のイベント参加の助成を行いました。



(幼稚園への花の苗配付)

●平成25年度実績及び計画(H25.4月～H26.3月)

○募金活動等

家庭募金や街頭募金を中心に「みどりの募金」活動を実施しました。ご協力ありがとうございました。

また、12月2日より各自治会を通じて門松カードの斡旋を行っております。

・ みどりの募金等の実施

現在の募金額 **2,868,474円**

(H25.12月現在)

・ 門松カードの斡旋

斡旋目標組数 **14,000組**



(みどりの感謝祭参加風景)

今後とも市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

○緑化の推進

自治会・学校への苗木・花の苗等の配付

緑の募金事業にご協力いただいている自治会や学校等が行う植樹等に助成を行うとともに、地区コミュニティ協議会に市花である「カノコユリ」の球根配付を行いました。

また今後は、各地区コミュニティ協議会・各自治会を対象に花の種付きカードを配付して、公共施設等の「花いっぱい活動」を推進します。

みどりの少年団育成事業

薩摩川内市のみどりの少年団に対し、緑とのふれあいを通して緑を愛し、守り育てる心を養うための活動に対し助成を行います。

イベントにおける緑化推進活動

産業祭&JA フェスタ(H25.11.17 開催)において、花の球根つかみどりを実施して緑化の推進を図りました。また今後は、各地域のマラソン大会等での街頭募金活動等を行います。

◆ 門松カードを斡旋します。

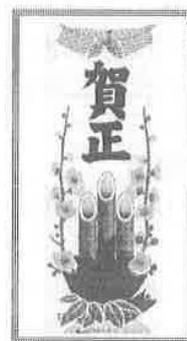
緑の羽募金の一環として、門松カードの販売を行います。

自治会を通じてご注文いただくか、本庁4階林務水産課及び各支所産業建設課窓口で販売しております。ぜひ、ご購入ください。

価 格 **1組(2枚) 20円**

販売期間 **12月26日(木)まで 8:30~16:30**

※土日、祝日は除きます。ご了承ください。



発 行 : 薩摩川内市みどり推進協議会
事務局 : 薩摩川内市 農林水産部 林務水産課内
 薩摩川内市神田町3番22号 TEL0996-23-5111(内線 4273)

所管部課名	農林水産部 林務水産課		担当者	奥平 幸雄				
事務事業名	林業振興育成事業							
根拠法令	薩摩川内市農林水産部関係補助金交付要綱							
補助経過年数	6年以上10年以下							
平成26年度 予算額	8,685 千円	国県支出金	その他	一般財源	その他の内容			
		千円	千円	8,685 千円				
	指標名		目標値		目標年度			
成果指標①	民有林の間伐実施面積		486.49ha		平成31年度			
成果指標②	60歳以下の林業事業体の作業班員数		50人		平成31年度			
補助対象者	認定林業事業体							
補助対象経費	認定林業事業体作業班員の就労の安定化及び間伐の計画的な実施に関する経費							
補助対象事業・活動の内容	① 認定林業事業体作業班就労奨励事業 …… 作業班員の健康管理及び就労の長期安定化を図る ② 林業就労改善推進事業 …… 作業班員の就労条件の向上及び就労の安定化を推進 ③ 森林環境保全直接支援事業 …… 間伐を計画的に推進 ④ 前に掲げるもののほか、特に必要であると認められるもの							
	分類	<input checked="" type="checkbox"/> 運営補助のみ <input type="checkbox"/> 事業補助のみ <input type="checkbox"/> 運営補助と事業補助の両方 <input type="checkbox"/> その他						
補助金額又は補助率	①及び②：事業費の1/3以内 ③：事業費の1/10以内							
上記項目の積算方法	①及び②の事業は、県でも補助を行っており、県の補助率である1/3と同率としている。							
補助を 受ける 事業 (団体) 等の 決算 状況	収入	項目	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
			金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)	金額 (円)	割合 (%)
		自己資金	811,986	7.9%	640,289	6.5%	529,393	5.5%
		会費収入		0.0%		0.0%		0.0%
		事業収入	811,986	7.9%	640,289	6.5%	529,393	5.5%
		寄付金・その他助成		0.0%		0.0%		0.0%
		市補助金	8,684,000	84.8%	8,640,289	87.1%	8,529,390	89.0%
		県補助金 (前年度繰越金)	747,993	7.3%	640,289	6.5%	529,390	5.5%
	計	10,243,979	100.0%	9,920,867	100.0%	9,588,173	100.0%	
	支出	事業費	10,243,979	100.0%	9,920,867	100.0%	9,588,173	100.0%
		人件費		0.0%		0.0%		0.0%
		その他事務費		0.0%		0.0%		0.0%
				0.0%		0.0%		0.0%
				0.0%		0.0%		0.0%
				0.0%		0.0%		0.0%
(翌年度繰越金)			0.0%		0.0%		0.0%	
計	10,243,979	100.0%	9,920,867	100.0%	9,588,173	100.0%		
支出計/前年度支出計				96.8%		96.6%		
自己資金/前年度自己資金				78.9%		82.7%		
翌年度繰越金/市補助金		0.0%		0.0%		0.0%		
交付件数		2件		2件		2件		
成果指標の推移①		614ha		558ha		486.49ha		
成果指標の推移②		6人		5人		5人		
特記すべき事項等	【今年度改善点】 対象者を、H25までは北薩森林組合であったものを、H26から認定林業事業体に変更した。北薩森林組合以外の認定林業事業体でも同様の取組を行っているため、対象の見直しを行ったもの。 H26以降は交付件数の増加が見込まれるため、それに伴い成果指標も大幅な伸びを見込んでいる。							

〈補助金の視点別評価〉

【主管課評価・・・A=合致、B=概ね合致、C=課題あり】

要件	項目	評価	評価した内容についての説明
公益性	補助の対象となる事業又は補助を受ける団体等の活動が、直接又は間接に、不特定多数の市民の福祉の向上及び利益の増進に寄与している。	A	対象事業は林業労働力確保を目的として林業労働者の待遇改善を図るものであり、林業が維持されることで地域の森林環境保全に資する。
必要性	次のいずれかに該当するものである。	A	①に該当する。 認定林業事業体に補助を行うことで、県に認定された計画である「雇用管理の改善」と「事業の合理化」を一層促進し得る。
	① 特定の目標・成果の達成に向けて、一定の団体等に一定の補助を行うことが直ちに必要であると認められる。		
有効性	② 社会的弱者の救済、地域的ハンディの克服等の観点から、当面、補助を通じた行政の支援が必要であると認められる。	A	市民の森林に対するニーズは高まってきており、林業整備が維持されることで、森林資源の有効活用、水源涵養、森林環境保全が図られる。
	達成しようとする目標・成果が市民ニーズに合致しており、かつ、その目標・成果の達成に向けて、適切な効果を生じている。(その目標・成果を測るための適当な効果指標の設定がなされている。)		
適格性及び妥当性	① 補助の対象となる事業について、行政が直接実施するよりも、行政以外の者が行う方が適当であると明確に認められる。	A	林業に携わる主体である認定林業事業体を実施することが適切である。
	② 補助率又は補助額が、明確な根拠によって積算されたものであり、かつ、社会経済情勢に照らし、著しく妥当性を欠く水準とはなっていない。(交付要綱の補助基準)	A	県補助率に準じたものであり、著しく妥当性を欠く水準とはなっていない。
	③ 補助を受ける団体等の活動状況等に照らし合わせて、自助努力がみられるなど、明らかに半永続的・固定的な補助にはならないと見込まれる。	A	戦後の拡大造林政策により植栽された人工林が収穫期を迎えつつあり、現在林業労働力を要する時期にきており、将来的には事業の縮小が見込まれる。
	④ 当該補助事業以外にその団体が行う活動の状況においても一定の公益性が認められる。	B	認定林業事業体を主体としており公益性は低いですが、林業の維持が森林環境保全に資するものである。
	⑤ 特定の目標・成果の達成に向けて、当該補助金等の交付以外に適当な政策手段がないか、又は当該補助金等の交付が最も妥当な政策手段であると明確に認められる。	A	林業に携わる主体である認定林業事業体の取り組みに対し、補助金による支援が適切である。
	⑥ 補助の対象となる経費が、明確に規定され、その内容は補助目的に照らし、公費を充てるものとして、著しく妥当性を欠くものとはなっていない。	B	対象経費は補助金交付要領により規定され、公費を充てるものとして妥当性を欠くものとはなっていない。

〈補助金の見直し結果〉

内部評価 (一次) 結果	≪今後の改革の方向性≫ <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の補助金と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 補助内容の改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	≪上記方向の理由≫ 民有林整備を推進するため、事業は継続していくが、補助金の交付先を北薩森林組合に限定せず、予算の範囲内で市内の認定林業事業体を対象とする。
	≪改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画≫ 北薩森林組合以外の認定林業事業体も若い就労者が増加傾向にあり、森林整備の活性化に繋がっている。